



# 6月の園だより



令和5年度 川崎保育園  
文責：水落

**主 題：生き物を大切にしよう（生命の尊重）**

**生活目標：あさ、ひる、よる、食べたらみがこう3分間**

さわやかな初夏の風が気持ちいいなあと思っていたら、なんと、5月末に九州北部も梅雨入りしたとの報道がありました。5月中の入梅は10年ぶりだそうです。いずれにせよ、これから湿度の高いじめじめとした日々が続きます。体調管理には気を付けていきたいですね。

さて、ゴールデンウィーク明けに「5類（インフルエンザと同扱）」となった新型コロナウイルス（以下コロナ）。確かに以前のように感染者数の増減に一喜一憂することはなくなりました。買い物等に出ても、マスクを着用されていない方も増えてきたように思います。久々の開催となった黒木の大藤まつりなど、さまざまなイベントもコロナ以前の姿を取り戻してきました。ただ、コロナが完全に収束したわけではありませし、季節外れのインフルエンザも地域によっては流行の兆しがあるそうです。先月号でも述べましたが、当分の間職員はマスク着用を継続いたしますし、保護者の皆さまも、送迎時は同様にお願いいたします。園児につきましては、保護者判断といたしますが、咳、鼻水等風邪様の症状がある場合は、できるだけマスクを着用させていただきますようお願いいたします。

## 6月の予定

- 4日（日）虫歯予防デー
- 9日（金）歯科検診
- 13日（火）避難訓練・消火訓練
- 27日（火）誕生会

## 7月の予定

- 7日（金）七夕まつり・保育参観
- 9日（金）歯科検診
- 28日（金）夏まつり

（※詳細については後日ご案内いたします。）



## 本園の保育のねらい



### リズムとテンポとくり返し

本園が取り入れている「総幼研」のすべての活動において、上記の原則が徹底されています。それは、子どもの持つ生来の欲求に即したものであるからです。

心地よいテンポ（速さ）があること、明快なリズム（律動）があること、そしてそれをくり返すこと。そのことを子どもたちは歓迎します。単純に楽しいのです。

リズムとテンポとくり返しのある環境に身を置くだけで、幼児期の脳は良い刺激を受け続けることとなります。子どもの「動きとことばとリズム」の活動に引き込む「リズムとテンポとくり返し」は、幼児期の子どもの教育にとってたいへん重要な要素です。



### ひとりではできないことが、みんなとならできる。

### みんなとできることは、やがてひとりでもできるようになる。

園では仲間とともに活動をおこないます。日課活動も一人で行うことはできません。できないというより、一人では得ることのできないともに高めあう感覚…友が友を呼び、力をあわせ、時に補い合う集団としての効果があります。

たとえば、最初はだれもいえないような音読でも、先生の声についていく子がいます。すると「ぼくもわたしも」という共振するような連帯感が生まれ、広がり、いつの間にかみんながいえるようになるのです。

多くの活動において、同じことがいえます。幼児期においては、まず集団の力をはぐくみ、そこから将来、この能力を引き出していくことが大切と考えています。

## 新しい職員の紹介です！！



お二人に来ていただきました。よろしくお願いいたします！